

日本学術会議 言語・文学委員会  
古典文化と言語分科会（第24期・第3回）議事要旨

開催日時：平成30年 7月30日（月）14：00～17：10

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南館4階ミーティングルーム

出席者：安藤宏、大芝芳弘、小倉孝誠、川合康三、木田章義、久木田直江、桑川麻里生、倉員正江、三宅晶子、山田俊治、渡部泰明。

欠席者：佐藤利行、高橋宏幸、田邊玲子、西村賀子

【議事内容】

●前回議事要旨の承認

●研究発表

倉員正江委員が「江戸代の往来物に見る古典教材について」、安藤宏委員が「高等学校国語教科書（現代文）の現状と課題」と題する研究発表を行ない、その内容を踏まえて討議を行なった。

●「古典精神と未来社会」分科会との連携について

哲学委員会「古典精神と未来社会」分科会から、今後の活動の連携について打診があったことを踏まえ、当委員会としてはその可能性を探ることとした。

●その他

- ・次回の第4回会議は、12月22日（土）午後2時～4時、慶應義塾大学三田キャンパスにて行う。川合康三委員が中国における古典教育の現状について研究発表を行なう。

以上